

ホップ・ステップ



22年度を迎えるにあたって19、20日で教室のレイアウトを変えました。高校生用の場所は新しく9人分のブー



スになりました(疲れました)。小、中学生用の教室も中央で向かい合わせに変更し、左右の壁に本棚を設置しました。



たくさんの差し入れやお気遣いありがとうございました。

小、中学生の教室も高校生用のブースもすべてWi-Fiで接続するようになりましたので、Lanケーブルがなくなりすっきりしました。



25日からの春期講座も問題なく運用出来ました。大本先生と話しをする菅原悠君と空君のお父さん。(6期生)。

28期生で湖陵生の福士太朗君が国立帯広畜産大学に見事合格しました。塾の卒業生として二人目の帯畜です。近畿大も北里大も合格!

24期生で今年、北見看護大卒の富岡さんと藤女子大卒の佐藤さんが久しぶりに来てくれました。あっという間に4年が過ぎました!

新年慶源スダート!
難しかった高校入試、大学入試が終わりそれぞれ進級、進学と新しいスタートを切ります。
一昨年の一月から二年以上続いているコロナ禍の影響で、息苦しい状況は今も変わってはいません。そしてロシア・ウクライナの戦争の影響で、日本の経済も大変なことになっています。
これから数年後、世界や社会はどのようなようになっていくのかは想像が付きませんが、格差社会がさらに進んでいることは間違いありません。
いま中学生、高校生、大学生のみなさんは、自分が将来、自立出来るように、今できることに真剣に取り組むことが大切です。
ITやAIによる自動化によって、今ある職業の多くが無くなっていく社会と考えられます。
さらに、いま社会が目指しているのは成績が良いとかIQが高いだけでなく、「非認知能力」の高いことです。将来、社会的、経済的に成功する可能性の高い非認知能力とは「忍耐力」や「意欲」、「社会的適性」、「自己認識」など色々あります。

「自ら計画を立て、実行する力」は勉強する上で社会で仕事をする上でも最も必要なものです。勉強では知識だけではなく読解力や応用力そして表現力や発想力を身につけなければなりません。
新年度のスタート、それらを意識し、社会が求める人材を目指し、気を引き締めて頑張りましょう!
中学進学以前低調 釧路市標準学力検査
釧路市教育委員会は、市立小中学校、義務教育学校に通う小学3年(中学2年生(義務教育学校7、8年))を対象に行った今年度の釧路市標準学力検査の結果を公表した。
小学生の平均正答率はほぼ全ての学年、教科で目標値を上回ったが、課題とされる中学生の数学は1、2年とも5ポイント以上目標値を下回り、中学進学後に成績を落としている傾向がデータにも表れた。学校の格差が出ており、多少の入れ替わりがあるものの下位校が固定化されているため、市教委では教員の授業力向上など、市全体の学力向上に向けた取り組みを進める考え。
同検査は、児童生徒の学力向上を目指して12年か

学年	校種	教科	正答率 (%)	目標値		全国平均 (%)	全国平均比較 (点)
				(%)	(点)		
小学校	3年	国語	75.0	72.0	3.0	75.6	▲0.6
		算数	68.8	66.9	1.9	68.9	▲0.1
	4年	国語	69.0	67.5	1.5	69.3	▲0.3
		算数	67.6	65.5	2.1	67.3	0.3
	5年	国語	67.8	68.5	▲0.7	68.9	▲1.1
		算数	63.4	63.2	0.2	63.8	▲0.4
6年	国語	71.2	68.7	2.5	69.2	2.0	
	算数	74.2	70.3	3.9	72.6	1.6	
中学校	1年	国語	59.8	58.5	1.3	61.4	▲1.6
		数学	52.1	58.8	▲6.7	55.3	▲3.2
	2年	国語	58.1	59.1	▲1.0	62.0	▲3.9
		数学	50.1	56.9	▲6.8	55.9	▲5.8

※▲はマイナス。小学校には義務教育学校前期、中学校には同後期を含む。

ら実施。3年度は昨年12月2日に行い、小学校25校、中学校14校、義務教育学校1校の約6250人が受験した。教科は国語と算数・数学で、各問題の正答率が目標値にどれだけ近いかを調べ、どの分野が苦手かを調べるほか、過去の検査と比較し、同一集団の経年分析や学校別の比較も行う。
今回初めて全国平均との比較、検証も加えた。各校は結果を踏まえた新年度の学力向上プランを策定している。
結果によると、小学校の平均正答率は、3年国語と6年算数は3ポイント以上目標値を上回り、目標値を唯一下回った5年国語でも1ポイント以内の差に収まった。特に6年は内容別で、算数の「文字と式」「対称な形」、国語の「説明文の内容を読み取る」「ポスターを作る」で5ポイント以上目標値を上回った。
一方、中学校で目標値を上回ったのは1年国語のみ。数学では1年の「文字式」、2年の「式の計算」「連立方程式」「二次関数」、1、2年国語の「文章を書く」がそれぞれ5ポイント以上目標値を下回った。
市教委では「各設問に無解答が目立ち、生徒の学習に向かう意欲や習慣に課題が見られ、それらに向けた取り組みと授業改善を一層強める必要がある」との見解を示している。
岡部義孝教育長は市議会2月定例会での教育行政方針で「小学校での学力がこの数年間にわたって比較的安定した水準で推移する一方、中学校では数学をはじめとして引き続き課題が残る状況は脱せず、何としても早急に実現しなければいけないのは教員の授業力向上」と表明。
今年度認定制度を創設した授業マイスターを中心に、市学力向上推進委員会と運動し全体的な規模で課題を把握、分析し、それぞれの学校の特性も踏まえ、授業マイスターによる授業公開や動画配信などを通じて目指すべき授業の在り方を示す方針だ。
釧路新聞3月24日

教室内の配置を新しく!
新年度に向けて塾内の環境を大きく変えました。小・中学生も高校生も集中して学習出来るようになったと思います。また、写真にあるように問題集や参考書など書籍も充実しましたので積極的な姿勢で勉強して下さい。
2日、3日は学力コンクールです。1年間の学習の理解度が結果として表れます。それらをふまえて自分の目標に向かって新学期に臨みましょう。
新年の初め、新年度の初めはみんな新しい気持ち、新しい目標を持ってスタートするはずですが、それを1年間続けるのは難しいことです。が継続すること、積み重ねる努力が結果につながるのです。
大変な時代の将来に向け、高校も、大学も出来るだけ早く志望校を決め日々努力することです!

4月の予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
土	金	木	水	火	月	日	休	土	金	木	水	火	月	日	休	土	金	木	水	火	月	日	休	土	金	木	水	火	月	日
						休							休										★	★	★	◆	●	●	◆	◆
						休							休										★	★	★	◆	●	●	◆	◆
						休							休										★	★	★	◆	●	●	◆	◆

昭和の日 休

中3生の入塾受付は6月末までです!

携帯・スマホ持ち込み禁止! マスク、手洗い、消毒を!

ストップ 過保護・過干渉!

釧路市教育委員会『授業マイスター』7人認定 教員の指導力向上へ

釧路市教育委員会は市立小中学校、義務教育学校で優れた授業を行う教員7人を「授業マイスター」に認定、28日に認定式を開いた。今後、市学力向上推進委員会と連携し、他教員に対して公開授業や動画配信を通じて目指すべき授業の在り方を具体的に示し、教員全体の指導力向上に努める。授業マイスターの認定は秋田県大館局の取り組みを参考にしたもので、道内では初の取り組み。



初代マイスターに認定された7人は、佐藤義人教諭（昭和小）、谷口敬太教諭（芦野小）、柴田敬祥教諭（幣舞中）、大内拓哉教諭（春採中）新谷将司教諭（景雲中）、宝輪秀光教諭（青陵中）、所桂太郎教諭（美原中）。

市教委では、全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）や釧路市標準学力検査で、小学校での学力が安定して推移しているものの、学年によっては全国平均との差がいまだにあること。

中学校では数学などさまざまな教科の学力に課題があり、中学進学後に成績を落としている傾向もあることから「1人たりとも置き去りにしない教育の実現は教員の授業力向上にかかっている」との考えで、学力向上委とともに目指すべき授業の指針「釧路市授業スタンダード」を策定。公開と同時に、授業マイスター認定の取り組みを進めてきた。

昨年4月から市小中学校校長会への説明、学校などからの推薦を経て、年間を通じて岡部義孝教育長や選考に関わる市教委職員が全校を訪問して対象者の授業見学や動画を視聴。3回にわたる選考会で認定を決めた。

この日は市内に7人が集まり、岡部教育長から認定証が授与された。岡部教育長は「子供たちの将来が明るくなるよう、皆さんと一緒に授業改善、授業力向上に取り組み、しっかりと釧路市の教育行政を進めていきたい」と期待を込めた。マイスターを代表して所教諭が「初代マイスターの名に恥じぬよう、目の前の子供たちの全力で向き合い、多くの子供たちから『今日の授業は分かりやすかった』という言葉が出る、力のある授業を展開するよう7人全員が力を発揮していく」と決意を述べた。

釧路新聞3月29日

息子3人が米スタンフォード大入学

アグネス・チャンさんの子育て術

日本デビューから50周年を迎える歌手のアグネス・チャンさん（66）は、米の名門スタンフォード大で博士号を取得した教育の専門家でもある。子どもたちが小中学校時代は試験前日に親子であるゲームを楽しむことで学習の理解度を深め、やがて息子3人全員がスタンフォード大に入学したという。親子の交流を重視する“アグネス流”の子育てに迫った。【聞き手・東京社会部/遠藤大志】

「元々、成績はいい方ではなかった」

——デビュー曲「ひなげしの花」などがヒットする中で上智大に進み、芸能活動を休んでトロント大(カナダ)も卒業されました。子どもの頃から勉強は好きだった？



◆元々、私はそれほど成績がいい方ではありませんでした。でも、高校時代にスカウトされた時に、父から「デビューするなら勉強を頑張りなさい。平均で80点とらなければ、歌手をあきらめなさい」と言われました。

勉強はとて大変でしたが、父の言葉で成績を大幅に上げることができました。歴史をはじめ得意な暗記科目が伸びたことで、苦手な数学などの点数も自然と伸びていきました。勉強するときに大切なことは、目標と「自分はできる」という自信を持つことです。

日本でのデビュー曲「ひなげしの花」が大ヒットしたころのアグネス・チャンさん。

一躍アイドルになった＝1973年1月ごろ

——アグネスさんにとって、目標とは何だったのでしょうか？

◆それは歌うことです。私の夢と直結していたのです。最初は、歌手活動を続けたい一心で勉強しましたが、次第に学ぶこと自体の面白さにも気づきました。

人間は生まれながらにして学びたがる特性があります。私は教育学の研究者として、今も常に知識を更新していますが、そうした学びこそが、歌手だけではない人生の大きな基盤となっています。

日本でのデビュー曲「ひなげしの花」が大ヒットしたころのアグネス・チャンさん。一躍アイドルになった＝1973年1月ごろ

——子どもの学習意欲を引き出すコツはありますか？

◆幼い子どもは「なぜ、空は青いの？」「なぜ、海は塩辛いの？」などと根本的な質問を親によくしてきます。私の3人の息子たちもそうでした。そんなときは、どんなに忙しくても「よくぞ聞いてくれた」と褒めたものです。答えが分からないときも、「一緒に答えを探そう」と決して放棄はしませんでした。

親が問いに全力で向き合うことで、子どもは「質問することは恥ずかしいことではないんだ」と思うようになり、好奇心がどんどん育っていきます。もちろん、子どもと一緒に考えることで親の学びにもつながります。

親子で試験の予想ゲーム

——試験が苦手な子はどうすればいいのでしょうか？

◆息子たちが小中学生のときは、翌日の試験に出る問題を予想し合うというゲームをしました。親子が交互に先生役を務めて、試験に出そうな問題を出したり、相手から出された問題を解いたりするゲームです。親の方はわざと的外れな問題も出して、子どもに内容のおかしさに気付いてもらいます。これを繰り返すことによって、子どもは的確な問題は何かを常に考えます。そのためには適切な答えが分からなければなりません。出題する側の視点に立つてみることで、学習についての理解を深める効果があるのです。

翌日のテストで、自分の考えた問題が実際に出題されれば、子どもはゲームに勝ったような気持ちになって、喜んでくれます。深く学ぶことができていると、結果的に試験の点数が悪かったとしても、それ自体はさほど重要ではありません。どうせ試験を受けるのなら楽しく取り組んだほうがよいですね。

——親と子のコミュニケーションは大切なんですね。

◆無理に勉強させるのではなく、見守り、応援することが重要です。子どものタイプによって有効な学習環境も異なります。優等生タイプの長男は1人で机に座らないと勉強ができませんでした。次男は聞いて覚えることが得意で、人と一緒に勉強するときも対話の中で知識を覚えていました。三男は、雑音のなかでこそ学習がはかどるタイプでした。大勢の人がいる中でも、ソファに寝っ転がりながら勉強していました。それぞれに個性があり、一律とはいきませんでした。

——自身の体験も交えた育児法を伝える「0歳教育」の本を出版しましたね。

◆これまで教育法に関する本を何冊も出版してきましたが、0歳からの教育については世間であまり言及されていなかったことに気付きました。脳の80%は3歳までに完成するといわれています。軽く考えられがちですが、生まれてからの12カ月間は、親が親となり、子どもの重要な基盤がつくれる黄金期なのです。私自身の苦労や喜びなど実体験も盛り込み、子育てが楽しくなるよう内容を工夫しました。

——子育てをして良かったと思うことは？

◆子どもたちが「自分を越えた」と感じる時が、一番充実して楽しい瞬間です。社会情勢が話題になったときも、子どもから知らない知識を教えられることがあります。私の子育ての目標は、子どもたちがなりたい自分になることです。生涯にわたって、ずっと伸びしろがあり続けてほしいと願っています。子どもが勉強を楽しんでいるためには、親も好奇心をもって子育てを楽しむことが大事ではないでしょうか。

アグネス・チャン



1955年、香港生まれ。チャリティーコンサートで歌っているところをスカウトされ、71年に香港でデビュー。72年に来日して「ひなげしの花」が大ヒットした。仕事と学業の両立を目指し、上智大国際学部に入學。76年にはカナダ・トロント大エリンダーカレッジ（社会児童心理学）に編入學した。

結婚翌年の86年には長男を出産。94年に米スタンフォード大で教育学博士号を取得した。歌手活動のほか、日本ユニセフ協会大使としても活躍。近刊に「スタンフォード大学に3人の息子を入れた 賢い頭としなやかな心が育つ 0歳教育」（ディスカヴァー・トゥエンティワン）。

毎日新聞 2022/3/27

釧路市の学力テストや国の学力テストの結果は以前から何も変わりなく、問題点も解消されず、釧路市の学力は低いまます。それは学校での先生方の教え方の問題ではありません。釧路の子どもたちや保護者の意識の低さに原因があります。

現に今年の入試でも市内一番手校の湖陵高校が定員割れ、道内の他の都市では考えられません。記事にあるような「授業マイスター」の設置によって問題が解決するとは思えません。どうすればいいのかは上の「アグネス流」が参考になるはずですよ！個性を大事にし自主的に積極的に学ぶ姿勢を身につけさせることが重要です！